

令和6年度第2回北区産業振興会議における意見

1 会議の概要

令和7年3月27日(木)に開催し、(仮称)北区産業活性化ビジョン2026(以下「ビジョン2026」という。)の策定に係る基礎調査結果を報告するとともに、ビジョン2026策定の方向性(政策展開イメージ等)について説明し、方向性についてご承認をいただく。

2 ビジョン2026策定に関する産業振興会議委員からの主な意見

- ビジョンは、産業振興課の事業だけでなく、他課や他団体が実施するようなものも載せ、示唆に富んだものにしてほしい。常識に縛られず、幅広くかつニュートラル(中立的)に検討をしてほしい。
- 区の情報発信力を強化する必要がある。情報発信は「待ち」ではなく仕掛けるべき領域である。
- 事業者・商店街支援も、積極性のある事業者・商店街に支援すべきではないか。
- まちづくりや再開発の部署等、関連部署と連携しながら進めていくことが重要である。
- ハローワークも情報発信力が弱いので、区と連携していきたい(キラリと光る企業の紹介等)
- 東京都が進めているオープンイノベーションについて、他自治体とも連携してもらいたい。